

次世代の会 2017 年活動報告

作成者：後藤和馬（2017 年次世代の会幹事長）

1. 論文出版支援（1 月～7 月）

10 万円の原資を使い、1 口最大 10 万円までの論文出版にかかる費用を補助するもの。2017 年は、以下の 1 件を採択しました。

(1) K. Shimizu & T. Ohba

"Extremely permeable porous graphene with high H₂/CO₂ separation ability achieved by graphene surface rejection"

Phys. Chem. Chem. Phys. 2017, **19**,18201 (7 月出版)

※論文誌バックカバー掲載費用（約 14 万円）に対し、10 万円の補助

2. 常任幹事会（4 月 21 日、東京）

主に夏季セミナーに関する打ち合わせを行いました。

3. 年会インターナショナルセッションの講師推薦とお世話（4 月～12 月）

本年も次世代の会が主体となり進めました。本年度は、中国の New Carbon Society との若手相互訪問を行うことになったので、中国からゲスト 2 名についてもお世話をすることになりました。韓国枠ゲスト 2 名、中国枠ゲスト 2 名については、欧米・アジア枠の 2 名の招待者について、それぞれ 3 名ずつのお世話係を設置。手厚く歓迎しました。

4. 夏季セミナー（8 月、北海道）

次世代の会が主催しました。73 名が参加し、盛況となりました。

5. 韓国炭素学会および中国炭素学会への招待講演者派遣（10 月韓国、11 月中国）

次世代の会より、宮崎晃平 先生（京大）、岩村振一郎 先生（北大）の 2 名を招待講演者として中国炭素学会（蘇州開催）に派遣。後藤幹事長（岡大）、平群諭先生の 2 名を招待講演者として韓国炭素学会（大田市開催）に派遣しました。派遣先ではそれぞれ講演を行い、国際的な親交を深めました。

6. 炭素誌 280 号「次世代特集」出版

炭素誌 280 号に特集「次世代を切り開く炭素材料の進化と深化」を掲載しました。（主担当：衣本幹事）論文 4 件、ノート 3 件、技術報告 1 件、夏季セミナーレポート、次世代の会会員自己紹介（写真つき）を掲載し、次世代の会の存在感が非常に高い特集号となりました。

7. 定例会@年会（12 月、桐生）

2017 年の活動報告を行い、引き続いて 2 件（九州大学・藤ヶ谷先生、東京理科大学・近藤先生）の講演を聴講しました。今年も 100 人を越える参加者があり、大盛況となりました。

8. 年会での International mixer 開催（12 月、桐生）

年会初日の夜に海外招待講師および定例会講演講師を招いて開催。30 名定員のところ 36 名の方にご参加頂き、こちらも盛況となりました。